

2023年(令和5年)12月22日(金曜日)



西菱電機

水道局向け中央処理装置開発

中小事業社のDX支援

西菱電機は、地方自治体などの上下水道事業者が運営する水処理施設・配水施設などの運転状況の監視から制御までを一元管理する「中央処理装置」の提供を開始した。新たに開発した上下水道監視制御システムで、中、小規模事業者のコストを抑えた更新需要に対応する。

また、システム更新から保守に至る一貫したソリューションサービスを提供し、運転監視業務のDXや効率化、持続可能な水道インフラの安定供給を支援する。

近年、国内の水道事業は、老朽化による設備の更新需要が見込ま

れる一方で、人口減少に伴う料金収入の減少に加え、職員数の減少など、公営企業を取り巻く経営環境は厳しい。特に中、小規模の事業者は、事業運営のより一層の効率化、設備の維持管理のさらなる効率化に加え、他の水道事業者との広域連携が求められる。

同社はこのようなニーズに対し、携帯電話回線などを利用して遠隔監視ができる「クラウド型テレメータシステム」の上下水道事業者への提供や水処理施設で稼働する監視制御システムの保守点検・

維持管理業務を推進。ほかにも水道情報活用システム標準仕様研究会に参画。水処理施設で、監視制御を行う中央処理装置の事業化検討を進め、装置を開発、完成させた。

製品の特徴は①システム規模によらない高い拡張性②全施設の状況を一目で把握が可能③維持管理に必要な不可欠な各種表示画面を搭載④見やすい画面と直感的で優しい操作性⑤Web機能搭載でいつでもどこでもリアルタイム監視⑥将来の広域連携を見据えたソフトウェア——など。